

## 新型コロナウイルス感染症に対する取り組み

当社では従来より、感染症対策を行っていますが、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、さらに徹底した対策を行い、安全な献血会場の運営に取り組んでいます。

### 【職員の健康チェックを徹底しています。】

- ✦ 日々の実施している健康チェックに加えて、出勤前・出勤時に体温測定を徹底しています。

### 【職員の手指消毒を徹底しています。】

- ✦ 職員の出勤時、献血会場入退室時。
- ✦ 献血受付時、問診時、献血カード更新時。
- ✦ 看護師は献血者ごとに手袋を交換しています。

### 【献血会場の良好な衛生環境を保持しています。】

- ✦ 献血会場にて使用する機材は日々、消毒液を用いて清掃しています。
- ✦ 献血会場の入口で体温測定をするなど、良好な衛生環境に配慮した会場設営をしています。

### 《皆様へのお願い》

- ◇ 献血会場では入口に備えている消毒液にて手指消毒をお願いしています。
- ◇ 入口にて体温測定を実施しています。  
(発熱が確認された方については献血会場への入場をご遠慮いただいています。)
- ◇ 必ず、マスクの着用をお願いしています。

※介助者等付き添いの方もお願いします。

**新型コロナウイルス感染の拡大下でも、  
毎日約 13,000 人の方からの献血のご協力が必要です。  
尊い命を救うために、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。**



## 新型コロナウイルス感染症について

1. 新型コロナウイルス感染症は、一般的には飛沫感染、接触感染で感染します。閉鎖した空間で、近距離で多くの人と会話するなどの環境では、咳やくしゃみなどの症状がなくても感染を拡大させるリスクがあるとされています。
2. 一般的に、肺炎などを起こすウイルス感染症の場合は、症状が最も強く現れる時期に、他者へウイルスを感染させる可能性も最も高くなると考えられています。しかし、新型コロナウイルスでは、症状が明らかになる前から、感染が広がるおそれがあるとの専門家の指摘や研究結果も示されています。
3. 感染を予防するためには、人と人との距離をとること（Social distancing: 社会的距離）、外出の際のマスク着用、咳エチケット、石けんによる手洗い、アルコールによる手指消毒、換気といった一般的な感染症対策や、十分な睡眠をとる等の健康管理を心がけるとともに、地域における状況（緊急事態宣言が出されているかどうかやお住まいの自治体の出している情報を参考にしてください）も踏まえて、予防に取り組んでください

※厚生労働省ホームページ「新型コロナウイルス感染症に関するQ&A」より抜粋

## 献血会場での安全対策

- ◎感染者や感染の疑いのある方の献血会場への入場をお断りしています。
  - ①入口での注意喚起（写真①）
  - ②体温測定（写真②）
  - ③手指消毒（写真③）
  - ④お願いパンフレット（写真④）
- ◎会場入口での手指消毒を徹底し、接触感染を予防します。  
（入口の他にも要所に消毒液を設置しています。）
- ◎必ず、マスクの着用をお願いしています。
- ◎献血にご協力いただく方には、健康状態を正確にお答えいただくなど責任ある献血をお願いしています。

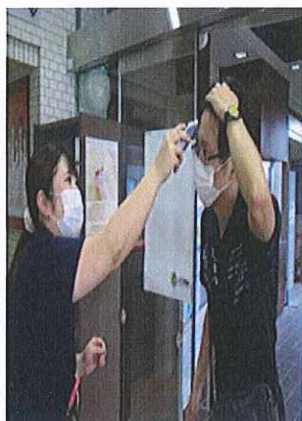
新型コロナウイルス感染症対策として  
以下に該当する方は

**「献血」をご遠慮いただいております。**

- ◆今までに新型コロナウイルス感染症と診断された、または新型コロナウイルス検査（PCR、抗原または抗体検査）で陽性になったことがある方
- ◆新型コロナウイルス感染症が疑われ、PCRまたは抗体検査を受けた結果は陰性だが、検体採取日から4週間以内の方
- ◆何らかの理由で新型コロナウイルス検査を受け、最近の結果が有明していない方
- ◆現在、発熱及び咳・呼吸困難などの急性の呼吸器症状を含む新型コロナウイルス感染症を疑う症状（※1）のある方
- ◆4週間以内に新型コロナウイルス感染者との濃厚接触とされた方（保健所からの連絡、もしくは○○○○による通知）（※2）
- ◆妊婦・産後・授乳中の方
- ◆海外から帰国して「4週間以内」の方

※1 発熱、咳、呼吸困難、喉痛、嗅覚・味覚障害、倦怠感、頭痛、悪寒、発汗、咽頭痛、筋肉痛、関節痛、腹痛、下痢、嘔吐、結膜炎、皮膚症状、アレルギー症状、その他の症状  
※2 新型コロナウイルス感染症の発生が確認された地域からの帰国者、帰国後、帰国途中、帰国予定の方、帰国後、帰国途中、帰国予定の方、帰国後、帰国途中、帰国予定の方

日本赤十字社



写真②



写真③

**お願い!**

献血を受ける皆様へのお願いは「献血者必読書」をご覧ください。

次に該当する方は献血をご遠慮ください

- ✓ 3日以内：発熱、悪寒、倦怠感、呼吸困難、喉痛、咽頭痛、皮膚症状、アレルギー症状、その他の症状
- ✓ 4週間以内：海外から帰国（帰国、帰国途中、帰国予定）
- ✓ 1週間以内：ピアスや入れ歯の装着
- ✓ 上記以外：その他、下記に該当する方
- ✓ 現在、発熱及び咳・呼吸困難などの急性の呼吸器症状を含む新型コロナウイルス感染症を疑う症状（※1）のある方
- ✓ 4週間以内に新型コロナウイルス感染者との濃厚接触とされた方（保健所からの連絡、もしくは○○○○による通知）（※2）
- ✓ 妊婦・産後・授乳中の方
- ✓ 海外から帰国して「4週間以内」の方

次に該当する方は職員にお申し出ください

- ✓ 3日以内：発熱、悪寒、倦怠感
- ✓ 4週間以内：海外から帰国（帰国、帰国途中、帰国予定）
- ✓ その他：その他、下記に該当する方

※1 発熱、咳、呼吸困難、喉痛、嗅覚・味覚障害、倦怠感、頭痛、悪寒、発汗、咽頭痛、筋肉痛、関節痛、腹痛、下痢、嘔吐、結膜炎、皮膚症状、アレルギー症状、その他の症状  
※2 新型コロナウイルス感染症の発生が確認された地域からの帰国者、帰国後、帰国途中、帰国予定の方、帰国後、帰国途中、帰国予定の方

2020年8月編

写真④

写真①



**Q1 献血会場で感染することはないのか？**

A1 体温測定、手指消毒、マスクの着用、会場内での消毒及び清掃を徹底し感染防止に細心の注意を払い、安全な会場設営に努めています。

**Q2 日赤職員から感染する可能性がないのか？**

A2 体温測定、手指消毒、マスクの着用、会場の消毒及び清掃を徹底しています。看護師は献血者毎に手袋を交換しています。

**Q3 既に感染している献血者が無自覚で献血会場に来ることはないのか？**

A3 献血会場入口での体温測定で、発熱が認められる方及び以下の項目に該当する方は、会場への入場をご遠慮いただいています。

- ・今までに新型コロナウイルス感染症と診断された、または新型コロナウイルス検査（PCR、抗原または抗体検査）で陽性になったことがある方
- ・新型コロナウイルス感染症が疑われ PCR または抗原検査を受けたが結果が陰性で、検体採取日から 4 週間以内の方
- ・何らかの理由で新型コロナウイルス検査を受け、直近の結果がまだ出ていない方
- ・現在、発熱及び咳・呼吸困難などの急性の呼吸器症状を含む新型コロナウイルス感染症を疑う症状のある方
- ・4週間以内に新型コロナウイルス感染者の濃厚接触者とされた方（保健所から、もしくは COCOA の通知）
- ・味覚・嗅覚の違和感を自覚する方 ・海外から帰国して「4週間以内」の方

**Q4 献血実施後に、社内で献血協力者以外の社員に感染が確認された場合はどのような対応を取ればいいのか？**

A4 献血協力者に対し、献血後に保健所から新型コロナウイルス感染症の積極的疫学調査の対象（濃厚接触者）であると連絡があり、濃厚接触の対象日から 4 週間以内に献血日が含まれていた場合は、該当献血者の「献血日、氏名、生年月日」をできるだけ早く血液センターにご連絡いただくようお願いしております。

また、献血された方が、献血後4週間以内に「新型コロナウイルス PCR、抗原検査または抗体検査が陽性となった」、医療機関で「新型コロナウイルス感染症」と診断された、または「新型コロナウイルス感染症の疑い」とされ PCR または抗原検査を受けた場合や、息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがあった、発熱及び咳・呼吸困難などの急性の呼吸器症状を含めた新型コロナウイルス感染症を疑う症状があった、接触確認アプリ COCOA から接触通知があり、接触日以降 4 週間以内に献血していた場合も血液センターへのご連絡をお願いしています。こちらについては、全ての献血者に対し、献血時にご案内させていただいております。

**Q5 新型コロナウイルス対応として献血を中止もしくは延期したいが？**

A5 献血会場の安全対策は万全を期していますので、予定どおり是非献血にご協力をお願いします。